

平成23年度 事業報告書

平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで

特定非営利活動法人アジアの誇り・プレアビヒア日本協会

1 事業の成果

平成23年度はプレアビヒア・エコビレッジにおける現地活動が始まった。世界遺産を守る活動には、地元住民の参画が不可欠であり、かれらの尊厳、コミュニティの形成が重要である。そのため住民の生活改善を図る農村開発、小学生への世界文化遺産教育の2つの支援活動が先ず行われた。

(1) 農村開発支援活動

最優先となる食の確保を単なる食糧支援では無く、世界遺産を守る活動を担う余裕を持てる生活改善、それを可能にする農業 - オーガニック農業の導入・普及を図った。

①エコビレッジ内モデル農園づくり

カンボジア NGO - CEDAC に委託、先ず2ヶ所の圃場から井戸の設置と技術支援を行い、収穫の増加等の成果をもとに、現段階でモデル農園は5ヶ所に増加している。

②オーガニック農業導入、タイ大賀農場への研修生派遣

大賀昌氏の指導を基盤に、国際的に通用するオーガニック農業を目指し、6名の研修生派遣。40日に及ぶ研修後帰国した研修生は、エコビレッジ試験農場、モデル農園で直ちに実践活動に入った。

(2) 世界文化遺産・環境保全教育

文化遺産と周辺自然環境保全、地域住民が共生関係にあることを理解し、自ら守り、育てると言う使命を先ず子どもたちに託すことから始めた。

①地元唯一の教育機関 - 小学校で学校生活における清潔・整頓等生活習慣教育を実施した。

教材配付、校内清掃、スローガン看板設置、ゴミ分別小屋建設、園芸活動等

②世界遺産寺院での小学生写生大会開催 - 世界遺産と森を守るビラ配布

これらの活動は民間団体の助成金、大賀昌氏・農園スタッフ、文具メーカー等多くの支援を受けて行われた。特にオーガニック農業研修生はカンボジア・オーガニック農業の先駆者となる意気込みを持っており今後が期待される。また小学生写生大会は、日本の学生の活躍を地元メディアが大きく報道する等好評だった。

(3) カンボジア政府から、エコビレッジ内12ha (36,000坪) の土地が正式に当会へ貸与される運びとなった。この土地はエコビレッジのメイン道路に面しており、今後の開発の重要なポイントとなることから、周辺部を含め設計に着手し、今期予定していた建物 (エコハウス) 建築の準備に入った。

(4) 大学生グループによる現地活動は上記写生大会の他、古着等の物資支援、エコビレッジ住民の生活調査、家畜調査など住民との交流を深め着実に成果を上げている。

(5) 当会の依頼を受け行われた東大チームによる現地調査に基づき作成されたオリエンテーション・プランはカンボジア政府等関係者の高い評価を受け、正式に同地区の開発基本構想に組み込まれることとなった。

(6) 今後の活動の大きな柱となる植樹活動の調査・準備が行われた。次期開催のエコビレッジ植樹祭準備を行った。

(7) 震災復興支援チャリティ音楽会、当会会長森田徳忠氏の写真集による募金活動を支援した。

(8) 会員増強活動はWSF(Women's Swim Festival)でのチラシ配布等継続して実施しており、3月末の会員数は正会員17名、賛助会員47名 (うち団体会員2名) 計66名となり、前年度対比29名の増加となった。

2 事業の実施に関する事項
 (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
アジア地域の遺跡周辺自然環境保全、修復事業	遺跡周辺整備 (境内の遺跡を除く周辺部コンセプト作成、当面必要となる事項の検討)	年間	カンボジア国プレアビヒア遺跡周辺、東京法人事務所	10人	住民45,000人、観光客200,000人/年	プロジェクト調査費
	バッファークゾーン(環境保全区域)の保全整備 (遺跡周辺20キロメートル四方内の地域)コンセプト作成、提案協議、現状の調査	年間	カンボジア国プレアビヒア遺跡周辺、東京法人事務所	10人	住民45,000人、観光客200,000人/年	現地調査基本構想提案協議
植林、植樹、苗木の育成および事前調査事業	植林 (遺跡周辺、バッファークゾーン、エコビレッジの植林)現状調査、中長期の事業計画の作成準備、エコビレッジ植樹祭準備	年間	カンボジア国プレアビヒア遺跡周辺、東京法人事務所	10人	住民45,000人	プロジェクト調査費100
地域住民の生活向上と自立のための人材教育、職能訓練、農業支援事業	農村開発支援 エコビレッジ内オーガニック農業導入・普及。 地域住民の生活向上とコミュニティ形成)モデル農園づくり、研修生派遣、エコハウス建築	年間	カンボジア国プレアビヒア遺跡周辺、タイ国農場、東京法人事務所	10人	住民45,000人	モデル農園、研修生派遣2582
遺跡並びに周辺地域の観光資源開発支援事業	ウェルカムビレッジ(エコツア客用滞在施設)開発 宿泊設備の整備 コンセプト作成、提案、協議 中長期の事業計画の作成準備	年間	カンボジア国プレアビヒア遺跡周辺、東京法人事務所	10人	住民45,000人、滞在者3,000人/年 観光客200,000人/年	プロジェクト調査費
	観光プログラム開発 スタディツアー (現地体験研修) エコツアリズム (環境問題体験ツアー) ヘリテージツアー (遺跡巡りツアー) などの開発支援	年間	カンボジア国プレアビヒア遺跡周辺、東京法人事務所	10人	スタディツアー参加者10人、観光客200,000人/年 カンボジア住民50人×365日のべ18,000人/年間(雇用促進受益者)	プロジェクト調査費
子どもたちのための教育支援事業	教育支援プログラム策定 (文化遺産・環境保全教育) 小学校学校生活運動、写生大会	年間	カンボジア国プレアビヒア遺跡周辺、東京法人事務所	10人	子どもたち10,000人	小学校学校生活運動プログラム、写生大会513

